令和７年度仙台市児童生徒のいじめ防止「きずな」アクション

まもらいだー

開 催 記 録

小中合同挨拶運動

仙台市教育委員会

令和７年度
仙台市児童生徒のいじめ防止「きずな」アクション
開　催　要　項

１　開催趣旨

本市では、児童生徒による自主的な取組を支援し、「いじめをしない・させない・許さない」という意識を高める事業として、平成 27 年度から全市一斉で「いじめ防止『きずな』キャンペーン」を実施しています。令和 3 年度からは、児童生徒一人一人が自らを振り返り、いじめ防止のために自分の学級や学校で具体的に活動できることを話し合う「いじめ防止『きずな』アクション」という活動を開始しました。

令和７年度は、５月キャンペーンから各学校で取り組んできた「いじめに向かわない『学級づくり』の実践」「命を大切にする心や思いやりの心を育む授業」を土台とし、５年目の「『きずな』アクション」を児童生徒一人一人が主体的に考え、その考えやアイディアを活かしたいじめ防止の活動を展開することで、児童生徒のさらなる意識高揚と「いじめが起きにくい学校づくり」につなげることとしました。

２　開催期間

令和７年５月の「いじめ防止『きずな』キャンペーン」から

３　参加者

仙台市立全小中学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校の児童生徒

４　令和７年度「いじめ防止『きずな』アクション」のねらい

各学校の行動目標やスローガン等をもとに、児童生徒が自分自身や学級・学校での生活を振り返り、全校で取り組む具体的な活動等を決め実践することで、いじめ防止の意識高揚を図る。

５　内容

各学級における話合い活動及び活動の実践

小学校での授業の様子

いじめを防ぐための活動について、まずはクラスで話し合い、それぞれ考えたアイディアを代表委員会で話し合いました。その結果、今年度取り組む「『きずな』アクション」について、「思いやりの木」や「いいとこみつけ」などの作成を通して、いじめ防止を呼び掛けました。また、全校生徒で縦割りのレクリエーションを行い絆を深めました。

思いやりの木を作成し、いじめ防止に関する呼びかけを行いました。

異学年で一緒に楽しんで遊べる活動を考え、関わり合いながら交流を深めました。

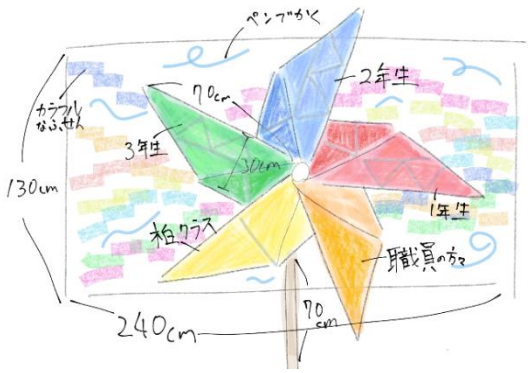
友達への「ありがとう」、友達の「いいところ」をカードに書きました。友達への温かい言葉がたくさん集まりました。

中学校の授業の様子

「他己紹介（自分以外の人を紹介する活動）」で友達のいいところを紹介したり、学年の垣根を越えていじめについて考えたりしました。全校生徒で掲示物を作成するなどして、学校全体でいじめ防止に取り組んだ学校もあります。

他己紹介（ともだちのいいところを見つけ伝えあいながら、友達のプロフィールを完成させました）を行うことで、友達や先輩のことをより詳しく知る機会になりました。

SNS トラブルの一例をもとに、異学年でいじめやトラブルにつながる言動について考えました。



クラスごとに「ポジティブな、いじめをなくす方法」を話し合い、風車を回す「風」の掲示物をつくりました。この大きな風車を回すことで、いじめ防止の願いを風に乗せ、校舎中に届けたいという思いを込めています。

市立小学校・中学校・中等教育学校・特別支援学校 184校の「いじめ防止『きずな』アクション」を掲示しました！

地下鉄仙台駅構内や各区中央市民センター、区役所に掲示しました。

地下鉄仙台駅構内

青葉区中央市民センター

宮城野区中央市民センター

若林区中央市民センター

太白区中央市民センター

泉区中央市民センター